

OR特論

OR特論 — 最適化モデルの観点 —

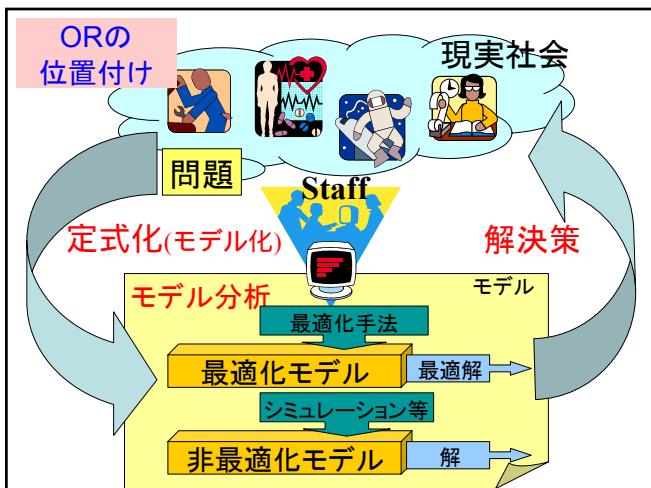
講義の概要

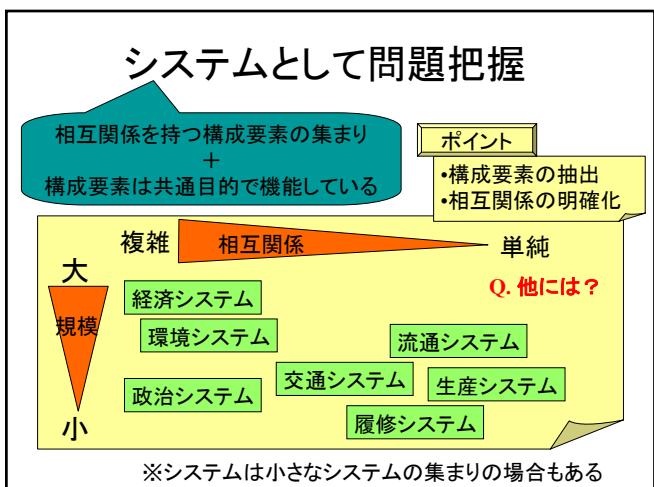
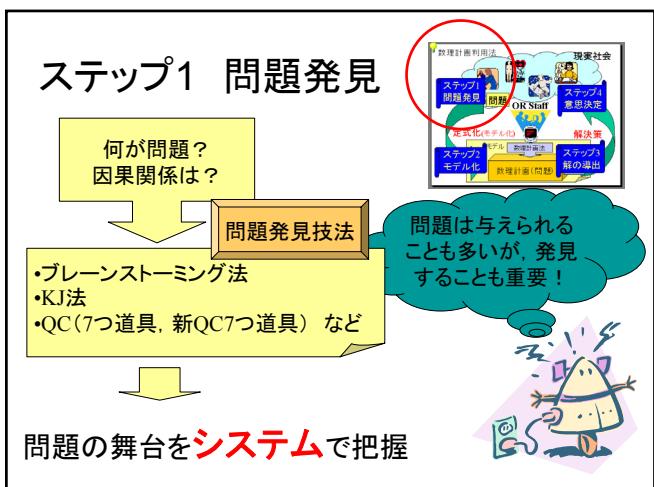
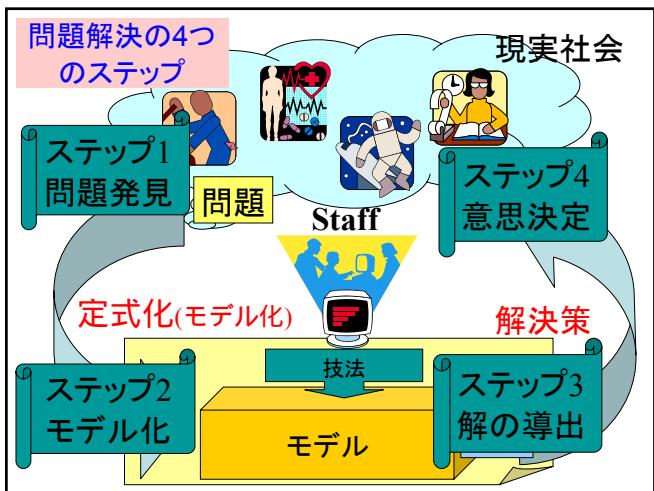
担当：根本俊男
nemoto@shonan.bunkyo.ac.jp



ここでお話しすること

- ・オペレーションズ・リサーチ(OR)の位置付け
 - 問題発見, 最適化, システム的アプローチ
- ・本講義の概要と流れ
- ・本講義で伝えたいこと





問題を捉えるポイント

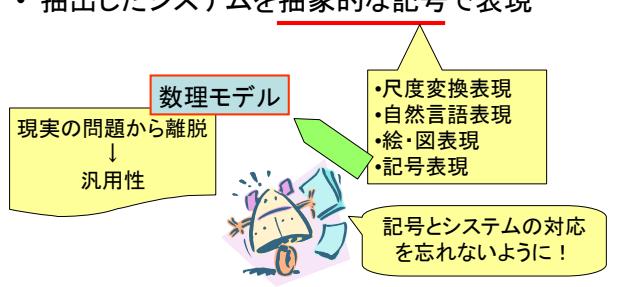
システムにおいて

- ・コントロールする(できる)構成要素は?
- ・コントロールに対する制約・限界は?
- ・コントロール結果に対する
良い・悪いの尺度は?

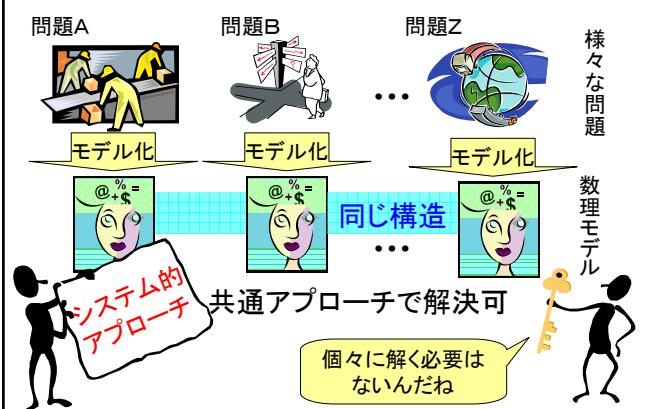


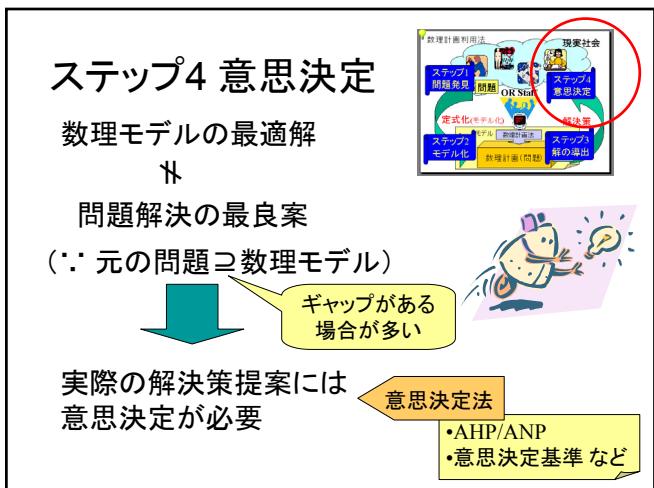
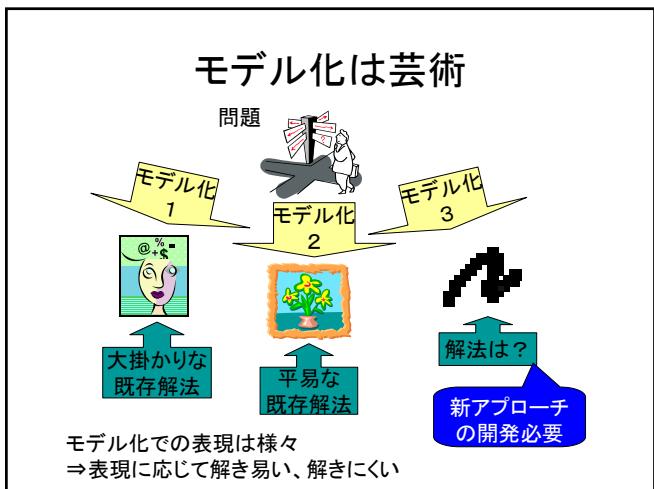
ステップ2 モデル化(定式化)

- ・関係部分のみ抽出
- ・抽出したシステムを抽象的な記号で表現

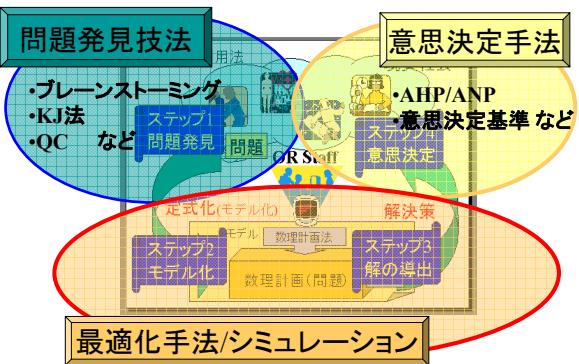


数理モデルは便利!





守備範囲分類



講義の流れ

1. OR技術に携わる人の価値観を知ろう
2. 問題のモデル化
3. 実際に数理計画問題を解いてみよう
 - ・ソルバーの利用
 - ・ソルバーの中身を理解しよう(基礎編)
4. 応用例から眺める最適化理論
 - ・小選挙区区割り問題に関する話題

8月12日
8月13日
8月14日

+ 様子を見て
•関連トピック

3つの願い

- ・最適化手法の価値を**把握して**欲しい
- ・最適化手法の利用方法を**理解して**欲しい
- ・最適化手法を実際に**利用して**欲しい

